

創立 1998 年 5 月 25 日 承認 1998 年 6 月 3 日

Tokyo Riverside Rotary Club

例会 毎週金曜日 12 時 30 分（第 5 金曜日のみ 18 時 00 分） 上野精養軒 Tel (03) 3821-2181
事務局 東京都荒川区町屋 2-2-15 プリメーラ O.D.A301 Tel (03) 5810-6221

E-mail riverside-rc@riverside-rc.jp URL <https://riverside-rc.jp/>

会長 有賀 雅雄

幹事 高橋 秀治

「持続可能なインパクトを生み出そう」

「Together, we Can」

国際ロータリー会長 オラインカ・ハキーム・ババロラ会長

東京リバーサイドロータリークラブ

例会 No.1225 2026 年 10 月 2 日
上野 精養軒 2F「藤の間」

♪国歌斉唱「君が代」
ロータリーソング「それでこそロータリー」

○卓話「AI 映画：現実と虚構境界」
米山奨学生 孫 赫峻 さん

○誕生祝：栗原 正雄 会員
渡邊 学 会員

メニュー ハンバーグ

【 次の例会 10 月 16 日 】
上野 精養軒 2F「藤の間」

♪ロータリーソング「我らの生業」

○卓話 荒川警察署長 押名 秀芳 様

メニュー ピラフ

【 前回の例会 9 月 18 日 】
上野 精養軒 2F「藤の間」

【 10 月：経済と地域社会の発展月間 】

○会長報告

ガバナー補佐訪問



石川 幸男 台東荒川グループガバナー補佐
南雲 史成 台東荒川グループ幹事

○幹事報告

- ・9 月 11 日の例会後、会長指名委員会に於いて水谷会員が 2028-29 年度会長に指名されました。12 月 4 日のクラブ総会において、正式に会員の皆様より 2028-29 年度会長のご承認を頂くことになります。以上よろしくお願い致します。
- ・グループゴルフ懇親予選会の報告
- ・次回 9/25 の例会は祝日振替の為お休みです。次の例会は 10/2 です、お間違えの無いようお願い致します。
- ・10/30(金)はガバナー訪問の夜間例会です。16:30 からクラブ協議会、18:00 から例会になります。会員の皆様にはご予約の程宜しくお願い致します。

尾竹橋町屋

98' ends

- ・モンゴルでは近年、歯を磨く習慣がないなか、甘いものの流通で虫歯になる人が増えました。東京荒川 RC の支援に賛同し、当クラブでも 10 万円の寄付を行うことになりました。寄付は直接モンゴルの窓口を送金することになりました。
- ・10月27日(火)多治見リバーサイド RC の例会に訪問致します。参加ご希望の方はお知らせ下さい。なお参加の方々に日帰り、または1泊かの確認をさせていただきます。

○委員会報告

- ・会員増強委員会(小林 弘会員増強副委員長)
第1回炉辺会合のご案内です。10月～11月に開催を行ってください。テーマは会員増強です。
- ・米山奨学委員会(天沼米山奨学副委員長)
10月は米山月間です。会員の皆様には特別寄付のご協力お願い致します。当日は1万円の集金いたします。現金のご用意お願い致します。

出席報告		
会員数	出席数	欠席数
37	28	9
☆ ビジター数 3 名 累計 4,035 名		
石川 幸男 台東荒川グループ ガバナー補佐		
南雲 史成 台東荒川グループ幹事		
宮地 浩太 様 卓話者		

ニコニコBOX

石川がバナー補佐、南雲分区幹事

本日お世話になります。宜しくお願い致します。

下川 芳延 会員

石川ガバナー補佐、南雲分区幹事、いらっしゃいませ。又、宮地様宜しくお願い致します。

小根澤 美和 会員

8月お誕生祝頂き有難うございました。新たなスタートに立ちました。精進してまいります。

藤井 政輝 会員

妻の誕生祝に際し、お花を頂き有難うございました。心より厚く御礼を申し上げます。

熊井 昌一郎 会員

結婚記念のお祝いを有難うございます。

ニコニコ BOX	40,000円
2026～2027 年度	累計 433,000円



夫人誕生祝
藤井 政輝 会員



結婚記念祝
熊井 昌一郎 会員



卓話「ケア児とその家族の孤立疲弊を

防ぐ取組み」宮地 浩太 様(東京神田 RC)

医療的ケアが必要なお子さんを育てるご家庭では、日々の生活が極めて過酷なものになっています。お子さんは呼吸器や酸素濃度計、脈拍計などの機器をつけたまま自宅で過ごすことが多く、これは「病院より家族と過ごす時間が長い方が良い」という考え方に基づいています。しかし、その分ご家族の負担は非常に大きくなります。

赤ちゃんは母乳を直接飲めず、鼻からチューブで数時間かけて栄養を入れます。これを1日に5～6回行い、さらに頻繁な痰の吸引が必要です。お母さんはほとんど眠れず、常に命の緊張感の中で過ごしています。兄弟がいる場合は、親が医療ケアに追われて十分に相手をしてもらえず、寂しさやストレスを抱えます。時には親が疲弊し、ヒステリックになってしまうこともあります。

こうした過酷な状況は夫婦関係にも影響し、会話の時間が取れず、離婚率が高いと感じるほど家庭が崩れてしまうケースもあります。中には育児放棄や虐待に近い状態に陥る家庭もあり、「どうして自分の子がこんなのか」と受け入れられず苦しむ親御さんも少なくありません。

こうした家族を支えるため、12年間にわたり「人と人との関係を感じてもらう」ことを軸に活動してきました。

主な取り組みは3つです

外出の機会づくり（デイトリップ）

医療機器をつけた子どもは外出が難しく、見た目への視線も気になります。特別なバギーは重く、段差も越えられません。そこで、バーベキューなどのイベントを企画し、仲間と一緒に外に出る機会を作っています。家族同士が交流し、笑顔が生まれる貴重な時間です。

兄弟支援（兄弟寺キャンプ）

医療的ケア児の兄弟は、親に気を使い、子どもらしい時間を失いがちです。海水浴、収穫体験、スキー、お泊まり会などに連れ出し、思い切り遊べる場を提供しています。そこで生まれた友人関係は成長しても続き、今では当時子どもたちがボランティアとして活動に参加するようになりました。

家族旅行支援

疲弊度の高い家族を医療者と連携して選び、長野県筑北村で2泊3日の旅行を提供しています。重い病気のお子さんも多く、すでに旅

立った子もありますが、旅行では家族が涙を流しながら「久しぶりに緊張が解けた」と語ります。残された時間が短い家族には、希望の場所への特別な旅行を行うこともあります。

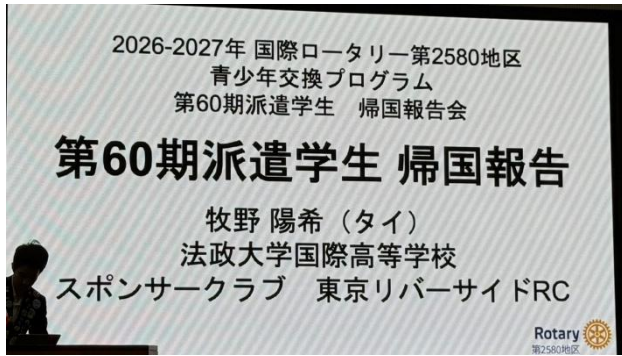
医療的ケア児とその家族は、日常生活そのものが「命と向き合う緊張の連続」であり、孤立しやすく、疲弊しやすい状況にあります。あなた方の活動は、その家族に「人とのつながり」「外に出る勇気」「子どもらしい時間」「家族としての思い出」を取り戻すための大切な支援となっています。

医療的ケアが必要なお子さんや、そのご家族は、日常生活の中で多くの困難を抱えています。外に出ることも難しく、障害や医療機器を「見られたくない」という思いから、社会とのつながりが薄れてしまうこともあります。しかし、それは本来の力を閉じ込めてしまうことにつながり、社会全体としても大きな損失だと感じています。

実際には、障害があっても普通に生活し、教育を受け、会社を立ち上げる人もいます。もっと多くの当事者が社会に出て、自分らしく活躍できる世の中になってほしいと願っています。私自身は障害児の親ではありませんし、すべての気持ちを理解できるわけではありません。それでも「人と人」という視点で、皆さんに少しでも注意を向けていただけたら嬉しく思います。もし街で医療的ケア児やその家族を見かけたら、どうか微笑みを向けたり、手助けを申し出ていただければと思います。時には断られることもありますが、それはこれまでの社会のあり方がそうさせてきたのだと受け止めていただければ幸いです。

皆さんが日々の生活の中で、ほんの少しでも気づきを持ち、こうしたご家庭に思いを寄せていただけることを願っています。本日は、このような家族の存在をお伝えする機会をいただき、心から感謝しています。

2026-27 年度国際ロータリー第 2580t 区
青少年交換帰国報告会



9月26日(土)、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて2025-26年度青少年交換派遣学生の報告会が行われました。陽希君も立派に報告することが出来たそうです。



東京ローターアクトクラブ9月例会に水谷会員と当クラブのローターアクト予定者金子君、河崎君がビジターとして出席してまいりました。

